

議題1 新規仲卸業者の入場について

選任区分	意見等
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	・新風を吹き込むという意味でも歓迎すべきことだと思う。(落合)
	・大変喜ばしい事です。(大川)
	・活性化に良いことだと思います。(高橋正昭)
	・長年の築地豊洲市場での業務実績があるということで、頼もしい限りです。松戸の消費拡大にご尽力いただきたい。(木口)
	・松戸市の「公設地方卸売市場」に新規に入場する業者があることは喜ばしい限りです。市民として、より活気づく市場を期待する声も多く今後の状況が楽しみです。また市場の状況をわかりやすく、楽しい雰囲気発信してくださることを望みます。(文入)

議題1 新規仲卸業者の入場について

選任区分	意見等
市場関係者	・今回入場した仲卸業者は豊洲においても大手の仲間であり、卸売市場の構成として販売力がある仲卸の存在は、その市場の活性化には欠かせないことと考えます。（藤田）
	・市場を活性化する意味でも新規業者が入場する事は良い事だと思う。（斉藤）
	・新規仲卸業者、出店おめでとうございます。これで市場活性化につながると思います。市場も産地回りをして皆さんで盛り上げましょう。（正司）
	・今回入場した仲卸業者は、松戸市内の大手スーパーを中心に松戸近郊野菜、果実の販売に尽力しています。また松戸地場野菜を市内飲食業者等へ納品しています。（松本）
	・新たな仲卸業者が入場された事は、長期的な取扱高減少傾向にも拘らず、南部市場の可能性を示唆するものと思います。（佐藤）

議題2 南部市場耐震化工事の進捗状況について

選任区分	意見等
学識経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・先日も大きな地震がありました。東日本震災の余震とのことでした。今後もあると思うので、報告を受けるだけでなく施設会社に工事をなるべく早くするよう協議をお願いします。（島田）
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の進捗状況は種々の状況を理解し、了解しました。（大橋）
	<p>（⇒市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場耐震化は、令和2年5月に施設会社に対し書面で早期着工の要望を提出するとともに、引き続き関係者との協議を行っているところです。
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全の面からご報告の通り進められることを願います。（落合）
	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市の台所として大事な場所なので、いち早く工事を完了させていただきたいです。（高橋 治）
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事に着手準備を進めている状況ですが、早く実施できるよう進めてください。（土屋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民が利用する南部市場が活気ある状況はもとより、安全で安心な場所であることは基本的な要件です。どこの場所でも耐震性が常にチェックされ、市民から「安全であること」が無意識のうちに認められていることが公共の施設だと思います。できれば、市民に対して、施設が「安全で、安心できる場」であることの情報等を楽しさとともに発信して欲しいと思います。（文入）

議題2 南部市場耐震化工事の進捗状況について

選任区分	意見等
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	<p>(⇒市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場耐震化は、令和2年5月に施設会社に対し書面で早期着工の要望を提出するとともに、施設会社との協議を行っているところです。引き続き、市場関係者をはじめ、市民の皆様安心してご利用いただける市場となるよう協議を進めてまいります。
市場関係者	<ul style="list-style-type: none"> 耐震問題は利用者、関係者の人命にかかわることであり、安全確保の観点から速やかな対処が必要と思います。工事期間の営業への支障を最小限に抑制できるような配慮、特に卸売場スペースの確保と荷物の搬出入に障害が生じないような工夫は重要と考えます。(産地、顧客対策として重要) (藤田) 施設整備の向上について開設後50年近く経過、早期着工して、安心安全な市場として運営、青果棟青果せり場の耐震補強工事、コールドチェーンの確立のため低温管理の冷蔵庫等が必要だと思われます。(松本) 耐震補強を実施しても本報告書において指摘されている施設の老朽化・陳腐化には対応できません。 耐震補強は過度的な対応と捉え、将来像を踏まえた経済合理的な計画となるように、関係者間の協議を行っています。(佐藤) <p>(⇒市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は施設耐震化だけでなく、保冷库などの市場施設の充実も含め、将来の南部市場がどうあるべきか、市場関係者や施設会社と連携しながら取り組んでまいりたいと考えています。 <p>また、この市場運営審議会においても議論を重ねていきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。</p>

議題 3-1 南部市場の置かれている現状について、感想をお聞かせ下さい。

選任区分	意見等
学識経験者	<p>・南部市場について関心がない市民がほとんどです。まずPR活動も大切だと思っています。小学生や中学生の社会科見学や広報活動も必要です。</p> <p>・市民から市場の活用について意見を集めることも大切です。 (島田)</p>
	<p>・青果物市場の成長が制約され、また卸売市場のシェアが低下する傾向にあるなど、引き続き厳しい環境に置かれていると思います。しかし、一方では外環道の整備など以前よりも条件が良くなった面もあることが紹介されました。短期的には、老朽化した施設の整備を課題としつつも、今回の調査で明らかになったようなメリットにも着目して、より長期的な視点から見たビジネス発展の方向性を展望できればと感じました。 (小林)</p>
	<p>・首都圏周辺の立地の経営環境の変化にもかかわらず、努力の跡が感じられます。 (大橋)</p>
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	<p>・卸売業者の経営統合・資本提携の動きに体制強化の必要性を感じ、世帯の変化、市場外流通の多様化・新規仲卸業者の獲得などの大変さが分かった。流通コスト削減のためにも地産地消を図ることや県外の買受人などの産地拡大が必要であることがよく分かった。好立地の強みを活かし南部市場ならではのウリをイベントなどの企画を通して宣伝し、生産者、南部市場、消費者が三方幸福になって欲しい。保冷設備不足の早急の解消をはかって欲しいと思った。 (落合)</p>
	<p>・市場が古いので、もっと明るくし利用されやすくした方がいいと思います。何かと古い分だけ改善点が多いと思いますが、大事な場所なので頑張ってもらいたいです。 (高橋治)</p>
	<p>・人口減少、少子高齢化、世帯の状況の変化等は国全体の傾向であり、歯止めには対策が難しいと思われます。 (大川)</p>

議題 3-1 南部市場の置かれている現状について、感想をお聞かせ下さい。

選任区分	意見等
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	<p>・時々午後に立ち寄り利用していますが、ほとんど客がいない状況です。昼食時ごろまでに行けば、全く状況は異なるでしょうが、なんとなく「もったいない」思いです。市民が利用できる時間帯をもっと積極的に案内するのも必要かなとは思いますが、以前何回かマスコミに取材されていた頃は、市民の立ち寄りも多かったとのことですが、なんとか多くの市民への「発信方法」を検討することが重要だと思っています。（文入）</p>
	<p>・松戸市生産者の出荷減少のため市場としての機能が十分ではないではと思います。（高橋正昭）</p>
	<p>・年々取扱量、金額が低下しているのが現状だと報告書を見るとわかる。コロナ禍で経済が動かず景気悪化が拍車を掛けています。コロナの収束を第一に願い、収束後の景気回復を推測しなければなりません。 外食産業が動かないと回復のスタートにはならない。農業はコロナに関係なく産出をしています。JAとうかつ管内の主な野菜（大根、キャベツ、カブ、ネギ葉物類—いわゆる大衆野菜—だれもが知っている、食卓に欠かせない野菜）等の家庭消費は、横ばいから緩い上昇傾向だが、外食の消費がどん底で収束後の景気回復、挽回を願う。（木口）</p>
	<p>・平成29年度3月末より、北部市場の廃止となり、松戸市として唯一の市場となりました。近年の卸売市場を取り巻く環境は生鮮食料品の消費量の減少、少子高齢化等による社会構造の変化、食の安全、安心食品流通の多様化、南部市場として、松戸市民へ安全安定的な青果物の供給、生産者に対する確実な販路の提供、松戸市民への災害時の物資集配拠点として活動したいです。（松本）</p>
	<p>・全てに減少傾向にあり厳しい状況ですが、必要とする人がいる限り改善するよう考えていくべきかと思えます。（土屋）</p>

議題 3-1 南部市場の置かれている現状について、感想をお聞かせ下さい。

選任区分	意見等
市場関係者	<p>・置かれている環境はどここの地方市場も同様であり現状のままでは将来の存続について検討をせざるを得ないことも全国の市場共通なことと認識しています。</p> <p>規模が縮小することで内向な行為にならざるを得ないことがより変化に転じられない要因となることから南部市場の果たすべき機能を今一度検討することも必要と考えます。（藤田）</p>
	<p>・平成29年度3月末より、北部市場の廃止となり、松戸市として唯一の市場となりました。近年の卸売市場を取り巻く環境は生鮮食料品の消費量の減少、少子高齢化等による社会構造の変化、食の安全、安心食品流通の多様化、南部市場として、松戸市民へ安全安定的な青果物の供給、生産者に対する確実な販路の提供、松戸市民への災害時の物資集配拠点として活動したいです。（松本）</p>
	<p>・北海道～沖縄、九州と日本列島、青果物を栽培する産地からの市場への物流、物流主にトラック輸送、ドライバーへの働き方改革による交通事故の撲滅等の問題から中央市場への集中出荷へ年々増加、地方市場（松戸市南部市場）は不利になっているのが現状、しかしながら松戸市の人口、食品の市民への供給（スーパーなどの量販店）が増えていることも承知かと思われます。市場の建物の老朽化（耐震）はもちろん、量販店対応等物理的に限界が現状だと思えます。（芦田）</p>
	<p>・生産者の減少、買参入の減少に歯止めがかからず厳しい状況が続いている。商品がなければ販路拡大も出来ない事もある。近郊野菜の集荷に努力してもらいたい。（齊藤）</p>
	<p>・本報告書からは、南部市場に限らず既存の卸売市場の衰退傾向が読み取れます。</p> <p>耐震補強そのものは業況には直結しません。市民の視点に立ち、抜本的な変革が必要であると考えております。（佐藤）</p>

議題 3-1 南部市場の置かれている現状について、感想をお聞かせ下さい。

選任区分	意見等
	<p>(⇒市の回答)</p> <p>・ 昨年の卸売市場法（条例）改正に伴い、南部市場だけに限らず全国的には取引の多様化（市場経由率の低下）が進んでいくと思われます。そのため、市としては今回の現状分析結果を踏まえ、引き続き審議会や市場関係者と協議を重ねながら、将来の市場のあり方について方向性を示してまいりたいと考えております。</p>

議題 3-2 今後の南部市場はどのようにしたら良いと思われますか？

選任区分	意見等
学識経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成功例は築地市場です。 ・ 市民にとって新鮮で安心な食材の提供の場（無論安価な）。 ・ 市民にとってアミューズメントで楽しい場所、家族が楽しめるところにする。 ・ 地方の買い物に不自由している人達をバスで送迎して買物をしてもらう。 (米国では日本食品の購入に全米からバスでニュージャージーに集合しました) ・ 観光地としての役割、買物と食事ができる場所。 ・ 広い土地はパーキングが可能で有利です。 (島田)
	<p>・ 貴重な調査結果を拝見させていただきありがとうございます。特に注目したのは、ユーザー（仲卸・買受人）から見て、南部市場では仕入れられない商品が多いという点です。結果として多くのユーザーが他市場からの仕入れ等に頼る傾向が強くなるとも説明されています。</p> <p>しかしこれを卸の側から見れば、確かな需要の見込めない商品を仕入れるわけにもいかないわけですから、問題の根は、双方向にあるということでしょうか。マッチングという言葉が流行っています。卸とユーザーさらに生産者をも含めて、情報が円滑に交換される関係性の構築が期待されます。 (小林)</p>
	<p>・ 卸業界は20年位低迷を続けてきました。一方卸機能は重視されてきた結果、生産部や卸小売業といった業態の開発が進んできました。南部市場では卸機能を重視した経営改善の研究をすすめ公設市場の現況を維持しつつ、南部市場の業態開発をすすめる研究をしてはいかがでしょうか (大橋)</p>

議題 3-2 今後の南部市場はどのようにしたら良いと思われますか？

選任区分	意見等
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	<p>・他県他市からの出荷や広告宣伝費をかけ消費者にアピールし、今はできなくてもイベントなどを行ったら良いと思います。 （高橋正昭）</p>
	<p>・今までは市場の販売は業者中心とされていますが、市民（一般の個人）でも利用できることをPRすれば市民に頼られる市場としてよくなると思います。 （高橋治）</p>
	<p>・委員になり日が浅いので、意見を申し上げられませんが、今できることをしっかりやり、多様な視点を持って対処したら良いと思います。 （土屋）</p>
	<p>・アンケートの結果を見ても、青果物はスーパーマーケットが大半をしめている。毎日市場に買い物に行ける人は限られてしまう。車で買い物に行けない人が多いとは思わないが、まだまだ知られていない現状がある。「道の駅」等の流行の名前をつけるとか関心をもってもらえる努力が必要と思われる。 （大川）</p>
	<p>・市場での小売販売を知らない人（24%）、種々なイベントを知らない人（55%）市場際に行ったことがない人（78%）など市場の認知度が低いので宣伝が必要。バスや電車のつり広告（はでに！）、SNSでの広告・広報、チラシが有効と思う。</p> <p>・各種のイベントを増やす。旬の野菜（枝豆・ネギ・梨など）を〇〇市として月一回くらいの割合で開催する（道の駅的感覚で）</p> <p>・駅前や市の空き地で青空市場（ボランティア、シルバーボランティア等）を開く（出長販売） （落合）</p>

議題 3-2 今後の南部市場はどのようにしたら良いと思われますか？

選任区分	意見等
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	<p>・市場が松戸管内産地の鮮度を売り込み、販路を増やして、相場を上げてくれれば、取扱量も増える。現状だと生産者の市場離れが進んで衰退していく恐れ有り。一概に市場離れといっても、相場だけの問題でもない。高齢化、後継者無し等の重要問題が山積。 (木口)</p>
市場関係者	<p>・南部市場は立地条件、東京外環自動車道の開通により、全国産地、近郊産地からの集荷、販売、また東京千住青果本社、葛西支社、越谷支社から（4市場）、集荷による東葛支社のお客様への供給により、全国の青果物を集荷し、南部市場の活性化を計ります。 (松本)</p>
	<p>・松戸市南部市場は、千葉県東葛地区また東京東葛等へ供給基地として、大変利便性ある立地であることから、供給機能性の強化が必須。南部市場のあり方、可能性を考えたイノベーションを発信すべきかと。世の中の変化、BtoBまたBtoCが進む中、時代の変化における新たな市場としての役割を再構築すべきだと思います。現状の生鮮流通に対応できる市場機能、施設をビジネスモデルとし南部市場の将来を議論すべきかと思っています。 (芦田)</p>
	<p>・従来型の卸売市場では成り立たないことは地方市場として共通の課題であり、社会インフラとして地域の市場として求められる機能を整理する時期と考えます。地域の産業である農業を活かした卸売市場の在り方としては、温度管理と物流拠点としての機能と商品化する加工機能が必要であり、多くの人口を抱える都市としては地域の消費する青果物供給基地として、数量調整機能と仕分け配送をする温度管理された物流拠点としての機能が必要となります。従来の市場機能にこうした時代が求める役割を果たす機能を持つ施設設備が必要だと思います。さらに、東葛地区を広域にとらえて、隣接する市との連携共同で農業の維持発展、進化も視野に入れた新たな青果物供給のための施設設備も検討する価値があるものと認識します。 (藤田)</p>

議題 3-2 今後の南部市場はどのようにしたら良いと思われますか？

選任区分	意見等
市場関係者	・ 市民に開かれる市場としての役割は大きいと思うので、消費者市場として力を入れる一方、専門業者（八百屋、スーパー、外食等）の買参入の発掘と同時に商品の集荷につとめる。（斉藤）
	・ 市民の視点に立った抜本的な変革を志向し、松戸市の発展に寄与する施設でありたいと考えております。（佐藤）
<p>(⇒市の回答)</p> <p>・ 近年の卸売市場を取り巻く環境は、社会構造の変化や食品流通の変化など様々な要因により、取扱高は年々減少を続け、厳しい状況となっております。南部市場は、民設公営という特殊な形態で運営しております。本市唯一の卸売市場である南部市場の今後については、松戸市、施設会社、市場関係者が一体となって方向性を検討して参りたいと考えています。</p>	

議題 3-3 その他、ご意見があればお聞かせ下さい。

選任区分	意見等
学識経験者	<p>・コロナ禍で飲食店は閉店などになりました。政府の補助金でなんとか一年過ごした店も有りますが、仲卸や生産者には何もありませんでした。そこで、コロナ禍でどう業者や生産者が経済的なことを含めて努力をしていたか、そして、市役所として何ができるか、市場というワクではなく市民である消費者、生産者、仲介業者などが幸せになれることを考える必要があります。そのためにアンケートをとり、聞き取りをしても良いでしょう。データを集めて下さい。コロナを無駄にしたくないです。 (島田)</p>
	<p>・消費者アンケートでは、いくつかのクロス集計も行うとよい情報が得られるかもしれません(例えば住所と市場の認知度、認知度と利用回数などなど)。 (小林)</p>
生鮮食料品等の生産者 及び消費者代表	<p>・開放型の楽しい空間をつくる。小学生の見学、せり体験、種々のゲームなどせっかくの楽しいイベントのCMが少なくて惜しい。特に市場際は大々的に宣伝してほしい。図書館、市役所などにチラシを置く。特産品コーナーを作る。</p> <p>・松戸市の観光課と連携して、市の社会見学ツアーに必ず市場を入れる。</p> <p>・松戸市医療センター行きのバスなどが、市場を経由するなど、交通の便を図る。アクセスの手段を増やすことによって、市民や近郊のリピーターを増やし、松戸市に南部市場ありとなれば良いと思う。(落合)</p>
	<p>・耐震化工事、コールドチェーンの確立の為の工事の費用の寄付を集めることは可能でしょうか。災害時における物資集配拠点であること等を知らない人も多いと思われるので、災害については、関心があると思われます。(大川)</p>
	<p>・コロナが終息し審議会が開催されますようにと思います。(土屋)</p>

議題 3-3 その他、ご意見があればお聞かせ下さい。

選任区分	意見等
市場関係者	<p>・ 今後に向けた様々な検討をする中で規模が課題となると考えますが、農業の生産構造も変化し絡む物流事業も影響する中で飛躍的に取り扱いが伸長することは考えにくい状況にあり、その観点からは他市場との共同連携も検討していくことは必要ではないかと思えます。（藤田）</p> <hr/> <p>・ 千葉県松戸市民のため、松戸近隣農家のため松戸市公設地方卸売市場南部市場として開設、生鮮食料品の流通拠点と運営、東京千住青果東葛支社として、消費者のため市場の安全安心を求め、公設市場のメリットを出し、信用や安心感のある市場作りを使命とします。（松本）</p>
<p>(⇒市の回答)</p> <p>・ 南部市場は、一般市民の方々がたくさん来場する市場でもあります。そのため、市としては公設、民設関係なく、南部市場全体（関連棟も含め）での活性化が重要であると認識しています。</p>	